

# 南浦和中だより

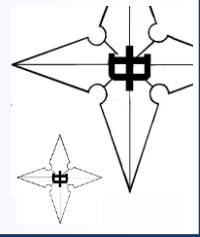
〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

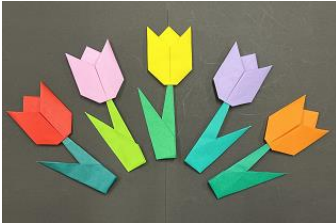
さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909



## 『君がいるだけで』

校長 おお うち のり かず  
大河内 範一



娘が幼稚園に通っていた頃、私は「PTA会長」を務めていた。実は、自分が勤務していた中学校の職場体験の受け入れを、娘の幼稚園に依頼しに行ったところ、「受け入れをOKするので、その代わりにPTA会長を引き受けてもらえないか」という、なんとも強引な交換条件が提示され、受諾することになったのである。

この役職の最も重要な任務は、卒園式で「保護者代表謝辞」を担当することであった。お世話になった先生方の前で、PTA会長が読み上げる朗読を聴いて、出席している保護者たちが一斉に涙を流すというのが毎年のお決まりのようになっていた。私は人々の期待に応えるべく、感動的な言葉を散りばめた文章を、渾身の力を込めて作成した。そして、卒園式前日の夜中の3時まで朗読の練習を繰り返し行ったというのも、懐かしい思い出である。当時の原稿がまだ現存しているので、大好評だった（と勝手に思っている）謝辞の一部を掲載したい。

初めて子どもが生まれ、この手に抱きしめた時、私は一生この子を愛し、守ってこうと誓いました。そして、ただ泣き声をあげることしかできなかった我が子が、歩くようになり、話をするようになり、ともに笑い合うことができるようになり、私の人生の喜びはすべてこの子になりました。そして本日、真剣な表情で保育証書を受け取っている姿を見ていたら、感動で胸がいっぱいになりました。〈涙〉 ～中略～

子どもたちはこれからどんどん成長していきます。一層かわいらしく、一層たくましくなるでしょう。そして、青春時代を迎え、素敵な恋もするでしょう。私たちは我が子が立派な大人に成長し、自分たちの元を巣立っていく時まで、愛情をもって大切に育てていきたいと思えます。先生方、卒園していく子どもたちを、これからもずっと見守り続けてください。〈涙、涙・・・〉

人は家族をはじめ、周りにいる多くの人たちに見守られながら成長しているのだ。今現在、もしかすると家族に対して素直とは言えない態度をとったり、無礼な口を利いたりしている人もいるかもしれないが、いったん心を整えてみてほしい。生徒の皆さんには、真心を込めて、愛を込めて、そして感謝の気持ちをもって他者と接することができる人になってほしいと心から願っている。

さて、そんな娘も二十歳を超え、すっかりおしゃれになり、メイクも上達した様子。ただ、美味しい食べ物を目の前にした際に、妙な小躍りをする癖と、その時の笑顔は小さい頃と変わらぬままだ。先日も、娘が運転する車の助手席に座っていたが、この場所がなんとなく居心地がよく、頬をゆるめながら、窓から流れる景色を眺めていた。